

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 3 月 17 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部・国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2025 年 2 月 25 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	ルーマニア
留学先大学	ブカレスト大学(日本語名) University of Bucharest(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024 年 10 月～2025 年 2 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 政治科学学部 現地言語での名称: Political Science ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 10 月上旬～2 月中旬 2 学期: 3 学期: 4 学期:
学生数	3 万人
創立年	1864 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (LEI) (1 現地通貨 = 約 30 円)	B 日本円	備考
授業料		0 円	協定留学のため
宿舍費	340lei	(11000)円	月換算 途中で値上がりしたので、また高くなるかもしれません。
食費	460lei	(15000)円	月換算
図書費		0 円	無料で利用可
学用品費		0 円	
携帯・インターネット費	30lei	(1000)円	月換算
現地交通費	10lei	(325)円	メトロ定期 1 か月分(☐ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		0 円	
旅費(留学中)		20 万円	
被服費		0 円	
医療費		0 円	
保険費		56000 円	形態: 明治大学で入る保険
渡航旅費		18 万円	
ビザ申請費	600lei	(3 万)円	
雑費		0 円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	4640lei (=約 15 万円)	43 万円	
総計(A+B) ※円		58 万円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田空港 目的地：アンリ・コアンダ国際空港 経由地：ドーハ

復路 出発地：アンリ・コアンダ交際空港 目的地：成田空港 経由地：イスタンブール、成都(中国)

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：カタール航空

料金：約 10 万円

復路 航空会社：タロム航空、四川航空

料金：約 8 万円

∴合計：約 18 万円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名： Trip.com)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前： Camin Leu C)

☐ アパート

☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室

☒ 相部屋(同居人数 2 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学の案内

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮の近くに大きなショッピングモールがあるため、なんでも調達できます。共用設備慣れるまで少し大変かもしれませんが、キッチン用具などは自分で揃えないといけないので、少し持っていくと楽だと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学や寮の友人が治安について教えてくれました。比較的安全だと感じましたが、スマホを盗まれた友人がいたので最低限の対策はするべきだと思います。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地で利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

初めは寮のインターネット接続が悪かったためスマホとデザリングしてました。後に回復しました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日常ではクレジットカードを使うことが主でした。初めに現金のユーロを持っていき、必要な時に Lei(ルーマニアの金貨)に換金していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

調味料

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)	
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
☐ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☒ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
international affairs and diplomacy		国際情勢と外交
科目設置学部・研究科	political science	
履修期間	1 st semester	
単位数	5ECT	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回	
担当教授	dr. Ruxandra IVAN	
授業内容	冷戦や脱植民地などの歴史からパレスチナ問題に代表される紛争まで、様々な国際情勢を学ぶ。	
試験・課題等	〈課題〉 毎週提示される論文とドキュメンタリーを見る必要がある。講義はその内容についてディスカッションする型式で進められる。 〈試験〉 中間テストと期末テストがある。中間テストは与えられたトピックについて説明する記述式のテストだった。期末テストはそのオーラル型式だった。	
感想を自由記入	国際情勢を幅広く扱うため、講義自体はとても勉強になりました。ホールのような少し広めの教室で他の学科の生徒と合同でした。授業内容は、第二次世界大戦からの歴史を基にした共産主義・社会主義、加えて中東戦争からのパレスチナ問題に関する部分に特に力を入れていたと思います。学生に意見を求めながら内容を掘り下げていくため、積極的に挙手する学生たちに刺激を受けます。しかし、課題は毎週一時間以上あるドキュメンタリーと論文を頭に入れないといけなかったので非常に時間がかかります。試験に関して、期末テストではその場でランダムにトピックが決められるオーラルテストだったためかなり苦戦しました。自分にとってはハードルの高い授業でしたが、今まで学ぶことのなかった国際情勢の細かい部分を学べたので良かったと思います。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
English Language and Literature		英文学
科目設置学部・研究科	Foreign Languages and Literatures	
履修期間	1 st semester	
単位数	4ECT	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 240 分が 1 回	
担当教授	Dr. Ionuț Geană	
授業内容	英語の実践的な活用について。ライティング、スピーキング、リスニングなど。	
試験・課題等	〈課題〉 スピーチの動画や文法問題など。 〈試験〉 期末のみ。主に文法問題のテスト。	
感想を自由記入	他学部から履修したため、シラバスなどの詳細を見つけるのに手間がかかりました。ルーマニア人の学生がほとんどで初めはアウェイな空気を強く感じましたが、教授はとても面白い方で授業の雰囲気も明るくてよかったです。授業は提示されるトピックについてのディスカッション、リスニング、文法問題などから構成されていました。ルーマニア語と英語の違いや翻訳も扱われますがその際ほとんど英語が使われるので特に問題はありませんでした。挙手制の他の授業と違い、毎回発言を求められるので少し大変でしたが自分の英語力に一番向き合えた授業だったと感じます。周りの学生も人によってレベルが様々なので失敗を恐れず頑張ろうと思えました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
English for Political Science		政治科学のための英語
科目設置学部・研究科	political Science	
履修期間	1 st semester	
単位数	3ECT	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 1 回	
担当教授	dr. Brîndușa Nicolaescu	
授業内容	政治を学ぶうえで必要な学術的な英語を身に着ける。	
試験・課題等	文学者を取り上げた、政治に関するフリーエッセイで評価される。	
感想を自由記入	授業は 20 人くらいの少人数で行われました。TedTalk などを使いディスカッションをしたり、文法に関する小テストをすることがあります。授業時間は短く、個人学習が主でしたが、教授はとても優しくフレンドリーな方で良かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Global Civil Society		世界の市民社会
科目設置学部・研究科	political science	
履修期間	1 st semester	
単位数	4ECT	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回	
担当教授	dr. Claudiu TUFİŞ	
授業内容	市民社会の構成と、その下での政治や経済について学ぶ。	
試験・課題等	最低 3 回ドキュメンタリーについてレポートを書く。期末にグループプレゼンテーションを行う。	
感想を自由記入	アメリカの市民社会を中心に学びました。Global civil society の下部組織や基盤から説明されるのでわかりやすかったです。日本の市民社会とは大きく異なることを知り、国民性や文化の違いが社会に影響していることを実感したのでとても興味深い授業でした。NGO の活動や選挙運動、女性の権利などとも繋がるため、様々な視点に立って学ぶことができます。後半の授業ではレポートの題材となるドキュメンタリー映画を見ます。他のアジア圏から来ている留学生も数名おり、他国の状況に関して質問されることもありました。日本の市民社会について詳しくなかったため、この授業が自国を理解するきっかけにもなりました。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	出願・選考
	10 月 ～ 12 月	
留学開始年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	航空券購入・出発
	10 月 ～ 12 月	留学開始、ビザ申請・取得、中間試験(12 月)
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	期末試験(2 月上旬)、帰国
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私は留学先の国に強いこだわりはありませんでしたが、ヨーロッパ圏に興味があったため、物価や治安、自分の性格などを考慮し、ルーマニアへの留学を決めました。人間関係など、何もかもがゼロの状態から始まる留学生活に不安や緊張はありましたが、その分、些細なことでも自分から行動し、それがうまくいったと感じられる瞬間はとても嬉しく、やる気につながりました。当たり前のことかもしれませんが、“日本人”として周囲から接され、さまざまな質問を受ける環境では、世界のさまざまな地域や人々と自国の違いを知ることができ、非常に貴重だと感じました。そのため、多様な人と知り合い、話す機会には積極的に参加することが重要だと思いました。私は英語が流暢ではないため、会話に参加するたびに緊張していましたが、「今しかできないことだ」と思い、とりあえず動いてみることを意識していたので、各自に合った原動力を見つけることが大切だと感じました。

また、現地で日本に関するイベントにボランティアとして参加する機会があり、学生だけでなくさまざまな層の人々と交流することができました。本当に温かく、忘れられない経験でした。そのため、授業外の活動があれば、積極的に参加してみると良いかもしれません。ブカレスト大学には日本語学科もあるため、日本語教育に興味のある人にとっては良い環境だと思います。多様性を知るだけでなく、日本のことも改めて学び、どちらも好きになれることは、留学を通じて新たに感じた大きな収穫でした。そのため、日本に親しみを持つ国に留学できたことは、私にとって非常に意義深いものでした。留学生活は、単に語学力を伸ばすだけでなく、予想を超えたさまざまな経験や出会いがあることを、しみじみと実感しました。